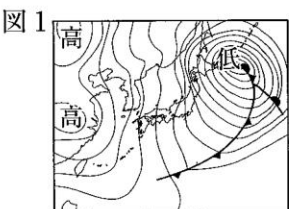


9 日本の天気について、次の問いに答えなさい。

(1) 春や秋の低気圧と高気圧の移動に影響をあたえている、中緯度上空をふく強い西風を何といいますか。名称を答えなさい。

(2) 図1は、日本の冬の時期に見られる特徴的な天気図です。これについて次の各問いに答えなさい。

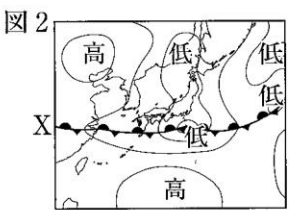


① 図のような、この時期に特徴的な気圧配置を何といいますか。名称を漢字4字で答えなさい。

② a 図の気圧配置に影響をあたえている気団は何という気団ですか。名称を答えなさい。また、次のうち、b その気団の性質として最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ア あたたく乾燥している。      イ あたたく湿っている。
- ウ 冷たく乾燥している。      エ 冷たく湿っている。

(3) 図2は、6月ごろに見られる特徴的な天気図です。次の文は、図のXの前線と、この時期の天気について説明したものです。文中の{|}にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

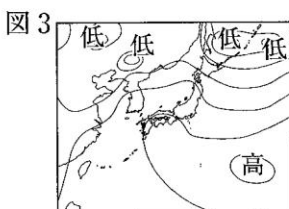


この時期、太平洋上のあたたく①{|}ア 乾燥した      イ 湿った{|}

気団と、オホーツク海付近の冷たく②{|}ア 乾燥した      イ 湿った{|}気団の勢力がつり合い、Xで表

された③{|}ア 停滞      イ 閉そく{|}前線ができるので、全国的に雨やくもりの日が多くなる。

(4) 図3は、ある夏の日々の天気図で、このとき、日本には夏の季節風がふき込んでいました。次のうち、陸と海のあたためり方や空気の流れ方と、夏の季節風のふき方について説明したものとして最も適当なものはどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。



ア 陸は海よりもあたためりやすく、陸上に上昇気流が発生するため、大陸から海洋へ向かって北西の季節風がふく。

イ 陸は海よりもあたためりやすく、陸上に上昇気流が発生するため、海洋から大陸へ向かって南東の季節風がふく。

ウ 海は陸よりもあたためりやすく、海上に上昇気流が発生するため、大陸から海洋へ向かって北西の季節風がふく。

エ 海は陸よりもあたためりやすく、海上に上昇気流が発生するため、海洋から大陸へ向かって南東の季節風がふく。

- (3) つゆの時期には、北のオホーツク海気団と南の小笠原気団の勢力がつり合うため、気団の接するところに停滞前線が発生します。この時期の停滞前線を梅雨前線といいます。
- (4) 陸は海よりあたためりやすく、夏の時期には、陸の方が気圧が低く、海の方が気圧が高くなります。小笠原気団が発達して南から大きくはり出し、太平洋上に高気圧ができ、南東の季節風がふきます。

(1)	へんせいふう 偏西風			
(2)	①	西 高 東 低 <small>漢字4字指定</small>		
	a	シベリア 気団		
(3)	②	完答	ウ	
	b	ウ		
(3)	①	イ	②	イ
			完答	③
(4)	イ			ア